



## 筑波大学メールマガジン “ペデじゃーなる” 2018 年 11 月-秋号-

—OB・OG と学生を結びながら、懐かしさと新しさ香る筑波の風を季節の便りとしてお届けしていきます。

### 🌻🌻🌻🌻🌻🌻🌻🌻🌻 INDEX 🌻🌻🌻🌻🌻🌻🌻🌻🌻

1. 雙峰祭でクレープを作りました／徳永翼  
—今年も雙峰祭は大賑わい！
2. つくば駅前にコワーキングスペースがオープン／添島香苗  
—駅前で始まった、つくばを「あげる」取り組み取材しました
3. 平砂宿舎前にカスミがオープンしました！／南陽花梨  
—ますます便利になる平砂宿舎前についてレポートします
4. 昔と変わらない学生の駆け込み寺／吉永真理  
—天久保1丁目に移転した老舗居酒屋「きく乃家」取材しました
5. 食と酒東北祭り／越智小夏  
—東北の魅力を堪能！
6. 筑波大学に最も近い銭湯／金久保響子  
—最近、研究学園駅近くにできた銭湯を紹介します
7. 秋の循環バス乗車記／前名裕一  
—筑波大周辺の様子をバスのルートに沿ってお伝えします
8. 予約必須のパンケーキ屋さん／山野実菜  
—早起きしても食べたくなる

## 1 雙峰祭でクレープを作りました



・『雙峰祭でクレープを作りました』



11月2日（金）から4日（日）の3日間にかけて雙峰祭が開催されました！ 今年はなんと全部合わせて 400 近い企画が開催されたそうで、学内外から大勢の人が来場して会場はとても賑わっていました。脱出ゲームや茨城の地酒が飲める「樽酒振る舞い」などの人気企画に加え、研究紹介やステージで行われるライブもあり、大盛り上がり。私も毎年大行列ができて機会を逃していた、広島県人会の作るお好み焼きが食べられたので大満足です。



さて、そんな雙峰祭ですが会場を回るだけでなく、自分で出店するのも醍醐味の一つ。私は学類の同期と一緒にクレープの店を出店しました！

卒業前に同期と一緒に何かをするのはこれで最後かも……？と、大張り切りだった私ですが、すぐに壁に直面。クレープってきれいに作るのがとても難しいんです！

クレープ生地は粉や卵を混ぜたものを鉄板にかけたら、すぐに専用のヘラを使って成形します。このとき、すばやく真円に生地を整えなければ、中身を入れて丸めた時の見栄えが悪くなってしまうのです。



何度か試しに作ってみて、コツを教  
えてもらい、なんとかそれなりのモノ  
は作れるようになりましたが、当日ク  
レープが売れるかどうかはまた別の話。

店の場所が人間学系棟の横の奥まっ  
たところということもあり、お客さん  
が来るか心配でしたが、杞憂に終わり  
ました。朝早くから、多くのお客さん  
が足を運んでくれ、店の前に行列がで

きることも少なくありませんでした。

注文が相次ぐと大慌てでクレープを作らないといけませんから、とても大変でしたが、そ  
の分充実感もひとしおでした。

夕方には予定の数を売り切り、店は大成功に終わりました。

卒業前最後の雙峰祭で楽しい時間を過ごすことができ、個人的には大満足です。もし来年  
も時間があれば遊びに来られたらいいな、と思う秋の日でした。

(人文・文化学群 日本語・日本文化学類 4 年 徳永翼)

## 2 つくば駅前にコワーキングスペースがオープン



・『つくば駅前にコワーキングスペースがオープン』

2017 年 2 月に西武が、18 年 2 月にイオンが閉店するなど、近年空洞化が懸念されている  
つくば駅前。でも、明るい話題も出てきました。10 月 1 日、つくば駅前にコワーキングス  
ペース「up Tsukuba」がオープン。コワーキングスペースとは、起業家やフリーランスの  
方などが共同で作業できるオフィスのことで、近年都内を中心に増加しています。

「up Tsukuba」は今後、つくばを「あげる」拠点になるかもしれません。平日の朝、実際  
に利用し、運営者の方にもお話を伺ってきました。

つくば駅から徒歩 2 分の好立地





場所は、つくばセンタービルの1階。つくば駅を出てペデストリアンデッキを少し南へ進み、最初に行き当たる石の階段を降りたところにあります。徒歩2分、道路を渡らずに到着できる好立地です。

**開放的な空間 会議室や一人で集中できるスペースも**



中へ入ると、明るく開放的な空間が広がっています。座席はフリーデスクが24席、半個室が9席に加え、最大14人を収容可能な会議室も備えています。もちろん、freeWi-Fiとコンセントも完備。人と交流するもよし、グループで会議をするもよし、一人で黙々と作業をするもよし。色々な形で利用できそうです。

私は半個室で、9時から10時まで1時間ほど作業。平日朝7時～10時の間は何時間利用しても500円で、コーヒーもついてきます（ラッキー！）デスクはパソコンとコーヒー、資料などを置いても余裕があり、ゆったりと使えました。Wi-Fiもさくさく動きます。普段は眠くてぼーっとしている時間帯ですが、「せっかくお金を払ってここにいるのだから、生産性のある時間にしなきゃ」という心理も働き、いつもより作業がはかどる気がしました。

**代表・江本珠理さん「筑波大の卒業生にもどんどん利用してほしい」**



なぜこの場所を作ろうと思ったのか。これからどんな場所にしていきたいのか。「up Tsukuba」を運営する「合同会社 for here」の代表・江本珠理さんにお話を伺いました。

元々は東京で、コワーキングスペースやゲストハウスの立ち上げに携わっていた江本さん。様々な出逢いを経て、東京よりも地方でチャレンジしたいと思い地方への展開を考えるように。その頃、筑波大学近くにコワーキングスペースを立ち上げた実績をもつ堀下恭平さん（2017年筑波大学生物資源学類卒業、for here 共同代表）と出会いました。堀下さんが抱いていた「つくば駅前をもっと盛り上げたい」という思いを江本さんも共有するようになり、クラウドファンディングでの資金調達を経て10月、「up Tsukuba」のオープンを実現しました。

オープンの大きなねらいは、人々が交流してアイデアが生まれ、スタートアップが育つ場になること。訪れた人は、オープンから一ヶ月でのべ500人に上りますが、江本さんは「まだまだ手探りの段階」と話します。「今はクラウドファンディングで知り合った方や、口コミで知った方が来てくれている。今後は、より多種多様な方がお越しいただけるように工夫し、人と人とが出会い、刺激し合える場にしていきたい」といいます。

「筑波大学の卒業生に積極的に利用してもらいたい」とも。「東京の友人の中に、筑波大の卒業生が何人かいます。彼らはつくばが恋しいのか、つくばに遊びに行く理由を探しているんですよね。そんな人たちにとって、『up Tsukuba』に立ち寄ることがつくばに来る目的の一つになったり、来たときの居場所になったりすると嬉しいです」



## おわりに

私もあと4ヶ月ほどで筑波大を卒業し、6年間住んだつくばを離れます。つくばの人、おいしいご飯屋さん、大学構内の風景……それらを恋しく思う日が、今から容易に想像できます。

取材を終えて「up Tsukuba」を立ち去る時、江本さんが「卒業しても顔を出しに来てよ。卒業旅行の話とか聞きたい!」と声を掛けてくれました。2時間ほどの滞在でしたが、その温かい言葉に「またここに来たいな」と確かに感じました。

つくばを「あげる」挑戦は、まだ始まったばかり。私が卒業生としてここに戻ってきたとき、「up Tsukuba」がつくばにどんな波を起こしているのか、楽しみでなりません。卒業生の皆様も「つくばに遊びに行く口実」の一つとして、「up Tsukuba」をぜひ訪れてみてください。

## up Tsukuba

[住所] 茨城県つくば市吾妻1丁目10-1 つくばセンタービル105

[営業時間] 7:00-23:30

[プラン] 詳細は公式サイトをご覧ください

- ・ドロップイン 1,000 円/4 時間、2,000 円/日（税込）
- ・個人会員 15,000 円/月（税別）
- ・法人会員 50,000 円/月（税別）
- ・Night & Weekend プラン 12,000 円/月（税別）

[URL] <https://up-tsukuba.com>

（生命環境科学研究科 生物科学専攻 博士前期課程2年 添島香苗）



- ・『平砂宿舎前にカスミがオープンしました!』

突然ですが、読者の皆様は学生時代どのスーパーに通っていましたか？ 桜にあるカスミやまるも、2014年にオープンしたトライアルに通った方も多いかもしれません。そんな

中、去る10月1日に「カスミ筑波大学店」がオープンしました。この新しいカスミは一体どんなスーパーなのかと、オープン前から在学生はもちろん地域の方々からの注目も集めていましたが、その実態をレポートしたいと思います！

はじめにスーパーの立地は、平砂宿舎1号棟からペDESTリアンデッキを北上してすぐの場所と、平砂宿舎周辺に住んでいる学生にはこの上ない立地となっています。ヘリポートの向かいの草むらがあった場所、と表現すれば、思い当たる方も多いのではないでしょうか。

外観でまず目につくのは、カスミに併設されたテラス席やピクニックもできそうな芝生。とても開放的な雰囲気で、「開かれた大学」を感じさせます。このテラス席や芝生では、実際にカスミで購入した食品を食べている学生もちらほら見かけられました。また、カスミの横にはサザコーヒーもあり、ショッピングエリア全体はおしゃれな公園のようです。



店内に足を踏み入れると、色とりどりのお菓子が並んだカップコーナーが目飛び込んできます。小カップか大カップを選んで、好きなお菓子やナッツ類、穀物などを選んで詰めることができます。

更に店内を進むと一人暮らしの人向けに、電子レンジで温めるだけの一人分の食事がずらりと並んでいました。他にも、魚が1尾ずつ包装されていたり、一人分サイズのお惣菜のコーナーがあったり、一人暮らしをしている学生を強く意識した商品展開がなされている



ことがわかります。



他にも特徴的なのは、ハラル食材や輸入菓子、各国のクラフトビールなど、国際性溢れる商品ラインナップ。さすが国際色豊かな筑波大学の中に建てられたスーパーなだけあるな、と感じさせます。私も今度、外国の料理やお菓子を食べて異国の情緒を感じてみたいと思います。

ここまでで買い物は一通り終了し、あとはいつも通り会計を……と考えていた筆者ですが、そこで目にしたのは衝撃の一文でした。『当店はキャッシュレス決済店舗です。』『No Cash!』。そう、ここ「カスミ筑波大学店」では、クレジットカードもしくは WAON カード（イオンが提供する電子マネー、決済前にチャージをするプリペイドカード）でしか決済ができないのです。一見現金が使えず面倒かと思いきや、実際に決済をしてみると小銭を用意したりお釣を数えてからしったりする手間がなく、とても便利だと感じました！

新しいカスミは、平日は 8 時から 21 時まで、土曜日・祝日は 10 時から 19 時まで開店しています。生活に欠かせない品物から珍しい食品など多彩な商品が揃っているので、ぜひ一度買い物に訪れてみてはいかがでしょうか。日曜日は定休日ですので、お気を付けください。

**カスミ 筑波大学店**

【URL】 <https://www.kasumi.co.jp/tenpo.php?eid=00219>

(人文・文化学群 日本語・日本文化学類 4 年 南陽花梨)

## 4 昔と変わらない学生の駆け込み寺



・「場所を変えても気持ちは変わらず 昔と変わらない学生の駆け込み寺」

「よく来たねえ。ありがとう。さあ上がって下さい」

お店について取材したいのですが……。と電話をかけてから 30 分後。電話でも快く取材を引き受けて下さった「きく乃家」の店主、藤間菊乃さんは、突然の来訪者である私を笑顔で迎えて下さいました。

大学周辺の老舗居酒屋で、「学生の駆け込み寺」とも言われていた「きく乃家」。お店の名前は藤間さんの下の名前、「菊乃」に由来しています。

同店は、今年の 8 月に天久保 3 丁目のけやき通り沿いから場所を変え、天久保 1 丁目に移転しました。移転に伴いお店を取材したいと考え、思いついたその日の夕方に電話をし、同店にお邪魔したのは開店から間もない午後 6 時。以前座敷だった店内は、カラオケも完備するスナックのような様相に。しかし、看板やメニュー、女将の藤間さんの寛容な物腰はそのままで、誰もが落ち着ける雰囲気です。

「静岡の美味しいお茶なのよ」

と、普段なかなか飲むことのない急須で入れた暖かい緑茶まで出して頂き、藤間さんの細やかな心遣いを感じながら、お店のことやつくばの町、筑波大学の学生についてお聞きしました。



(寒くなる時期だから、とヒーター（左下）も完備した店内の様子)

— なぜつくばにお店を開こうと思ったのですか？

つくばに店を開いたのは今から 25 年前。それまでも別の場所で飲食店を営んでいたが、夫の仕事の関係でつくばに移動してきた。

— お店の目指すものは？

季節の食材を使って美味しい和食を提供すること。料理に用いるお米や野菜は、筑波山のふもとで、無農薬で自家栽培している。もちろん料理も全て手作り。

— 町や学生の印象

町全体としてはお酒を飲む人が減ったように感じる。何かと取り締まりが厳しくなったので減ったのではないかな……。昔は夕方でも開店前に何人が待っていることもあった。

学生は今も昔も変わらずみんな素直だ。強いて違いをあげるなら、昔の学生の方がおっとりしていたように感じる。今の学生は割とはきはきとものを言うように思う。

— 筑波大の卒業生にひとこと

人生山あり谷あり。健康で頑張っただけいい。場所は移動したが、機会があれば戻ってきてほしい。

来店する学生とは人生相談のような話もするという藤間さん。

「悩むってことは今後絶対にプラスになる。自分自身が強くなれるから。頑張れば結果が出るから大丈夫」

取材の最後、私も自分の悩みのようなものをつい話してしまいましたが、上記のような力強いお言葉で背中を押して頂きました……！

取材中、多くの人に愛されてきたお店なんだと実感する半面、藤間さんは、移転してからお客の足が遠のいたことが少し寂しい、とも話します。

「メニューも変わらず、お昼もやっている。学校からは少し遠くなったけど、卒業生の方でも学生さんでも、またみんなでわいわいして欲しい」

卒業生の皆さまも、つくばにお立ち寄りの際は「きく乃家」に足を運んでみてはいかがでしょうか？

ここまでお付き合いいただきありがとうございました！

「和風居酒屋きく乃家」





- ・ 営業時間    (昼) 11:45~14:00  
                    (夜) 17:00~24:00
- ・ 定休日    日曜日
- ・ 住所    〒305-0005 茨城県つくば市天久保 1-6-11
- ・ 電話    029-854-9815

(生命環境学群 生物学類 3 年 吉永真理)

## 5 食と酒東北祭り



・『食と酒東北祭り』

東大通りのイチョウもすっかり色付き、今年も秋がやってきました。南国愛媛出身の筆者にとって、つくばの秋冬の寒さは大学生活 3 年目にしても未だに慣れず、毎年この時期は憂鬱な気分になります。そこで今年は、ますます厳しくなる寒さを乗り切る元気を蓄えようと、「食と酒東北祭り」に参加してきました！

「食と酒東北祭り」は、東北を元気にしようと 5 年前から筑波大生が始めたイベントで、今年は 10 月 13, 14 日に、つくばセンター広場で開かれました。会場には、東北各地の地酒や名産品の屋台がずらりと 24 軒も並び、飲み食いをしながらステージで行われるパフォーマンスを見ることが出来ます。



たくさんのおいしそうな料理や飲み物が並ぶ中でも、特に筆者の心をわしづかみにしたのは、コップ1杯100～300円といった格安価格で飲めるたくさんの日本酒。濁り酒にひやおろし、さらに熱燗での提供もあり、手軽さとバリエーションの豊かさから次々に試し飲みし、気が付けば財布が空に……！中には酒蔵でしか販売してない貴重な日本酒も販売しており、お気に入りの日本酒は瓶でも購入できました。

筆者が買ったのは、純米吟醸「奥州の龍」。店長の「チーズに合う、ワインみたいで美味しい日本酒だよ。ヨーロッパでも一番売れているんだ！」という言葉に惹かれ、（ヨーロッパで一番という真偽はともかく）思わず購入しました。

いかつい名前と裏腹に、とてもフルーティな香りが魅力の、優しい味の日本酒です。そして店長の言葉通り、本当にチーズに合うんです！最近はずら、チーズをつまみながら一人晩酌するのが趣味になりつつあります。





寒さも本番を迎える前に、皆さんもお気に入りの日本酒を見つけて、秋の夜長を楽しんではいかがでしょうか。そして来年は是非、「食と酒東北祭り」にも足を運んでみてください。

(人文・文化学群 比較文化学類 3 年 越智小夏)

## 6 筑波大学に最も近い銭湯



・『最近、研究学園駅近くにできた銭湯を紹介します』

すっかりコタツとお鍋が恋しい季節となってきましたが、読者の皆さまはいかがお過ごしでしょうか。こんな寒い季節では、温泉につかりたくもなってきますね。ということで、今回の記事では今年の4月に研究学園駅近くにできた、銭湯をご紹介します。

最近、つくば駅の隣の駅である研究学園駅近くに、「つくば温泉 喜楽里 別邸」という銭湯ができました。この銭湯には筑波大学から自転車にて 20 分ほどで行くことができます。近くにある銭湯といったら平砂学生宿舎の共用棟にある銭湯くらいしかなかった筑波大生にとって、これはとても嬉しい知らせでした。外観は下の写真のような感じで、この建物が森の中にふと現れます。とても風情がありますよね。今回、私はこの気になる銭湯に行ってみたので、行ってみて気に入った点と気になっている点をご紹介しますと思います。しかし、(当たり前のことですが) 私は女湯にしか入ったことがないので、女湯の感想に留まってし



まいます。悪しからず……。

#### ① 寝ころび湯で泥パック

女湯の露天風呂の 1 つに、寝ころび湯というものがあります。これは寝ながらお湯につかれるというものです。つかただけでもそのまま寝てしまいそうなくらい気持ちいいのですが、この銭湯ではセルフで泥パックをして寝ころび湯に入ることができるのです！ 寝ころび湯の前に泥が固まりでおいてあり、それを自分で顔に塗って寝ころび湯に入ります。そのまま 5 分ほどお湯につかり、その後パックを水で流す、という感じです。まず、泥パッ



クを  
塗っ  
た  
と  
き  
が  
冷  
た  
く  
て  
気  
持  
ち  
い  
い  
！  
そ  
し  
て、  
泥  
パ  
ッ  
ク

を流したあとは、顔から汚れが落ち、爽快感が溢れます。普段体験することのできない泥パックをこんなに手軽に体験できる場所は、なかなかないのではないかと思います。

#### ② プルガマと岩盤浴、温熱房

これは、私はまだ体験したことがないのですが、今度時間があるときにぜひ試してみたいと思っている施設です！ 公式ホームページによると、この施設遠赤外線効果で身体を芯まで温めるプルガマや岩盤浴、床暖房の部屋など、発汗を促す各種設備を楽しめる施設だそうです。これだけの施設がなんと、平日は 280 円で満喫することができます！ とても贅沢ですね。女性専用の岩塩の部屋もあり、女性でもゆっくり楽しめるようです。これは行くしかないですね。

#### ② 便利な支払い方法

銭湯では、最初に支払う基本料金、洗顔料を買うときに支払う料金、湯につかった後に飲む牛乳の料金、そしてマッサージ機を使うときに支払う料金、と多くの場面でお金を支払うと思います。その度にお財布を出してはしまうというのは、とても煩わしいですね……。

でも、この銭湯ではスムーズにいきます！ というのも、ここでは入館したときに脱いだ靴をしまう靴箱の鍵を、そのままモバイル財布として使うことができます。洗顔を買うにしても、牛乳を買うにしても、マッサージ機を使うにしても、この鍵を機器にピッとかざすだけです。そして帰るときになったら、全ての精算を行います。これはとても便利で感動しました……。お財布を出し入れする手間が省けるので、お財布をどこかに忘れるなんてことも起こりにくくなります。最後まで気持ち良く帰ることができるのです！ ただ、現金をそのときそのときに出さない分、お金をどれだけ使ったのかという実感が沸きにくなるので、お金の使いすぎにはご注意ください。

以上、「つくば温泉 喜楽里 別邸」について、私が気に入った点、気になっている点をご紹介します。ご興味は持っていただけたでしょうか。つくばに用事があるときなど、機会があったらぜひ寄ってみてください。最後に、施設の外にはこんな顔はめパネルがあります（写真）。「つくば温泉 喜楽里 別邸」に寄った際には、最後にこの顔はめパネルでインスタ映えを狙い、ぜひつくばでの思い出にしてください。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。



「つくば温泉 喜楽里 別邸」

<https://www.yurakirari.com/kirari/tsukuba/>

(教育研究科教科教育専攻社会科教育コース 1 年 金久保響子)

## 7 秋の循環バス乗車記



・『秋の循環バス乗車記』

読者の皆さまは、大学構内を走る循環バスに乗ったことがありますか？ 私は大学1年の時から雨の日の移動やつくば駅へ行くときなど、循環バスには大変お世話になりました。読者の皆さまにも、循環バスに関するいろいろな思い出があるかと思います。今回はそんな筑波大生にとって最も身近なバスである、大学循環バスの乗車記をお届けします。卒業生の皆さまも乗ったことがあるはずの循環バス。学生時代の思い出や現在の筑波大の様子に思いをはせていただけると幸いです。

11月のある日、つくばセンターから右回りの循環バスに乗りました。バスを待つ間に周囲の景色を見渡しましたが、イオンや西武の閉店などで活気を失いつつあるつくばセンター周辺の物寂しさを強く感じました。駅近の大型商業施設の閉店も時代の流れかと思いつつも、街の中心地が寂れていく様子は切なかったです。

バスが集まるロータリーを出ると、右手につくばエキスポセンターのシンボルであるロケットの模型が見えました。床が低いバスの中からもはっきりと映るその姿は、自分がつくば市の象徴と言わんばかりで、大きな迫力を感じました。つくば駅付近の信号を抜けると、吾妻小学校や春日エリア、大学病院を經由して大学構内に入っていきます。春日エリアから大学構内までは、たくさんの木が立ち並ぶ長い並木道が続きます。

並木道は大学会館から第1エリア、一の矢宿舎へ続く道沿いまで伸びており、「大学なのか、森なのか」というフレーズを思い浮かべるほど、森のような景色が見えました。道路沿いの木はだいたい色づき、秋の深まりを感じさせます。





本部棟を越えてからは、アパートの多い天久保三丁目や追越宿舎付近に入っていきます。卒業生の皆さまも、きっと立ち寄ったことがあるはずの百香亭やらんぷなどの飲食店や建設中のアパートが見えてきました。天久保二丁目のあたりには最近できた飲食店も多く、大学周辺の変化を強く感じる場所となっております。追越宿舎を過ぎると筑波メディカルセンター病院の前を通り、つくばセンターへ戻っていきます。



私は就職に伴いつくば市を離れるので、この見慣れた景色とももう少しでお別れかと思うとバスの中なのに涙が出てきそうになりました。またバスに乗るときには、景色を目に焼き付けようと思いました。

## 🌸 8 予約必須のパンケーキ屋さん



・『予約必須のパンケーキ屋さん』

筑波大生お馴染み、おいしいパンケーキのお店『totan cotton cafe』、今までは天久保3丁目に小さい一角にお店がありましたが、8月30日から天久保4丁目に移転し、お店が少し大きくなりました。



実際に行ってみると、空間は広がったものの、前の totan cotton cafe 特有の雰囲気は変わらず、小洒落て可愛い感じでした。大きな窓があることで、明るい光が入ってきて良い気持ちでした。向かい側には田んぼや木々が見え、のどかな雰囲気も加わっています。机も増え、一度に入れる客も多くなっていました。

totan cotton cafe は通常メニューもちろん美味しいですが、季節でかわる限定メニューも人気です。30食限定のものもあり、なかなか食べるのが難しいことも…。秋の季節はカラメルマロンパンケーキと紅はるかのパンケーキが出ていました。カラメルマロンパンケーキはモンブランの下がパンケーキになっているなんと幸せな組み合わせ、紅はるかのパンケーキは濃厚なさつまいもソースがふんだんにかかっている、それとホイップクリームの組み合わせが最高、二つともとても美味しくいただきました。





左：カaramelマロンパンケーキ 右：紅はるかのパンケーキ

以前のお店では、9時から配られる整理券をもらうために朝からお店の前に列ができていたのですが、リニューアル後はインターネット予約式に変わりました。朝8時半から予約が始まり、早い日だと15分もすればもう完売してしまいます。実際私も8時半と同時に予約をしましたが、完了したときには14組すでに予約されていました。

みんな早起きしてでも食べたくなるパンケーキのお店、totan cotton cafe にみなさんもぜひ訪れてみてください。インターネット予約は忘れずに行ってくださいね。

(人文・文化学群 比較文化学類2年 山野実菜)



#### ☐『編集後記』

ペデジャーなる読者の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。編集長の前名裕一です。読者の皆さまは秋と聞いたら、何を思い浮かべますか？ きっとそれぞれの答えがあるはずですし、皆さまにとってかけがえのない思い出がたくさんあるかと思います。今回はたくさんのお届けすることができました。読者の皆さまにも、いろいろな秋のつくばの様子を伝えられたかと思います。

今年は10月になっても暑い日が続いたと思ったら、11月には急に寒くなり、あまり秋を感じることができませんでした。いったい、秋はどこへ行ってしまったのだろう……と、思っていたらいつの間にか冬の足音が聞こえてきた……と感じさせる年でした。ですが、編集長として編集員一人ひとりの記事を読んでいると、秋は確かに存在していたのだな、



とも思われました。私自身も、筑波大周辺の木が色づくのを見て、改めて秋はあったと実感しました。

足早に秋は過ぎようとして、寒い日が続くようになりましたが、読者の皆さまにおかれましてもどうぞご自愛ください。また冬号でも、皆さまにお会いできることを信じて…  
…。

(社会・国際学群 社会学類4年、前名裕一)



筑波大学のいろいろな取組みのご紹介



オリジナルボルドーワイン シャトー・クーアン



本学とボルドー大学の連携協定を記念して、平成27年9月よりボルドー大学の提携研究機関であるフランス国立農業研究所（INRA）で醸造された希少な赤ワイン「シャトー・クーアン・ルージュ」の特別ボトルを初めて作成・販売しました。

今年度は、最上級のブドウを使用したファーストラベル「シャトー・クーアン赤 2015」及び昨年度好評を得ました「シャトー・クーアン白 2014」を販売します。

2015年は、ブドウの出来がより一層よく、今回は“赤・白のいずれのワイン”もプレミアム付きの極めて希少な逸品ですが、好評につき、価格を据え置いての販売です。

<筑波大学×ボルドー大学限定ラベル>は、本学芸術系の原忠信准教授がデザインしたオリジナルラベルです。

**本商品は、限定販売のため、本数に限りがございますので、ぜひ、お早めにお買い求めください。**

ご購入に当たっては、株式会社カクヤス「購入サイト」からご購入いただけます。新規にご購入される方は、同社の会員登録（無料）が必要となります。

▽▼購入はこちら▼▽

<https://www.kakuyasu.co.jp/news/feature/tsukuba/>

## 🍷 第 21 回（平成 30 年度）ホームカミングデーを開催しました！



筑波大学学園祭「第 44 回雙峰祭」開催期間中の 11 月 3 日に、筑波大学中央体育館バスケット場において第 21 回（平成 30 年度）筑波大学ホームカミングデーを開催しました。

今年は、学群・学部卒業生については平成 6 年度入学生を、また、大学院修了生については、今回お招きしている卒業生の大学院進学と同年度となる平成 10 年度に本学大学院に入学された方をご招待し

ました。それぞれのご家族、当時教鞭をとられていた退職教員もお招きし、本学関係者と合わせ 450 名を超える方々が一堂に集い、昨年度に引き続き大盛況となりました。

### ◆ホームカミングデー開催紹介記事◆

<http://www.tsukuba.ac.jp/news/n201811081110.html>

🍷 筑波大学 公式ホームページ: <http://www.tsukuba.ac.jp/>

🍷 筑波大学 facebook : <https://www.facebook.com/univ.tsukuba.ja>

🍷 筑波大学交流広場「KUTTUK ba」: <https://alumni.tsukuba.ac.jp/>

（筑波大学交流広場／筑波大学生涯メールアドレス 利用登録募集中!）

🍷 編集・発行：「ペデジャーなる」編集ワーキンググループ

🍷 デザイン・配信作業：国立大学法人筑波大学事業開発推進室

🍷 ご意見・問い合わせ先：国立大学法人筑波大学事業開発推進室

〒305-8577 茨城県つくば市天王台 1 丁目 1-1

TEL:029-853-2030 FAX:029-853-6576

**メールマガジンの一部または全部を無断転載することを禁止します。**

**Copyright © 2014 University of Tsukuba. All Rights Reserved.**